

ホームページ管理人自己紹介とご挨拶



goyoshi です。

本名、後藤田 祥人（ごとうだ よしと）1963 年 11 月、東京ヒルトンホテル開業から遅れること 5 ヶ月、赤坂とは程遠い九州熊本市で生まれ、20 年後、新宿に移転し新たに開業した東京ヒルトンインターナショナルに入社。（たぶん 1 週間以内に組合加入）その後 1888 年、東京ベイヒルトン開業 1 ヶ月前に移籍、ほぼ開業と同時に執行部に。半年後から単組書記長、副委員長、連合会事務局次長、単組委員長、連合会事務局長を経て、今期より連合会中央執行委員長に選任されました。

ヒルトンで働くことなど占う余地もなかった 2 歳の頃、学習院大学哲学科を出て東急の幹部候補生として入社した、初代委員長の富永さんは赤坂で交換台を占拠し、会社をクビになり、裁判を起こし、和解しながらも組合専従を選び、その生涯を（まだ生きてます）組合活動に捧げて来られました。私は、組合の新宿移転事業には関われませんでした。以降、沖縄ヒルトンの撤退による旧連合会の解散。大阪、東京ベイ、名古屋の相次ぐ開業・組合結成による新連合会発足、小樽労組の加盟、そして今年の 5 月、ヒルトン小樽のイシンへの経営譲渡に伴う組合解散、連合会からの脱退と、17 年間執行部として関わってきましたが、どれをとっても自分の人生で経験するはずも無かった事だと今でも思えてきます。ましてや、22 年前の入社式（120 名の新卒対象で、京王プラザの宴会場でした）の壇上でスピーチをしていた富永さん（なぜだか良く覚えています）の立場に自分になるとは思いもよりました。

連合会委員長といえば、筆舌に尽くしがたいほど強烈なインパクトの富永さん、人間の器が大きいとはこういう事を言うのだと教えられた小嶋さん、そして私が尊敬してやまない、博学で抜群に頭が良く、ユーモアのセンスも少しだけ持ち合わせ、ダンディーで真面目な前委員長臼田さんという、人として越えられないような方々の後を受け、何をつくり、何を残していけるのかを考えると、あまりにも無力な感は否めませんが、2 年間（今期より 1 期 2 年になりましたので）この少ない脳みそと、華奢なカラダで「ヒルトン労組自立」の実現を目指してみたいと思います。

また、私が事務局長時代に立ち上げたこのホームページも引き続き私が更新して行きますのでどうか宜しくお願いします。

最後に、長年にわたり組合活動に尽力され、今回退任されました臼田委員長にはお疲れ様でした。長年のご苦勞とその多大な功績に感謝いたしたいと思います。本当にありがとうございました。